

域密着型サービス 運営推進会議 報告書

事業所名：小規模多機能型居宅介護事業所ほほえみ

サービス種類：グループホーム ・ 小規模多機能型居宅介護

地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護

地域密着型通所介護 ・ 認知症対応型通所介護 （該当に）

日時：令和4年6月9日 14時00分～14時50分

場所：大田市高齢者生活福祉センターむつみ苑（ほほえみだと狭い為）

委員：9人

利用者代表	0人	知見を有する者	0人
利用者家族	1人	大田市職員	2人
地域住民の代表	2人		
事業所職員 （職名：しおさい施設長・管理者 リーダー2名）			4人

1. 報告事項：

(1) 利用者の状況

①入所者、登録者、利用者の人数

（小規模多機能居宅介護は、通い・訪問・泊りの利用者状況を加える）

a) 登録者数及び男女比

	4月	5月
登録数（月末時点）	26名	24名
男性：女性	5：21	3：21

b) 地域

	4月	5月
仁摩町	19名	17名
温泉津	5名	5名
大森町	0名	0名
五十猛	2名	2名

c) 要介護度

	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	変更申請
4月	0	0	12	4	5	4	1	0
5月	0	0	11	3	5	5	1	0

d) 年齢構成

	65歳未満	65歳以上 75歳未満	75歳以上 85歳未満	85歳以上 95歳未満	95歳以上	平均年齢
4月	0	2	7	14	3	87.8歳
5月	0	2	7	12	3	87.5歳

(2) サービスの提供状況

① サービスの提供回数

a) 週当たりの平均サービス提供回数

	4月	5月
通いのべ人数/月 (平均)	405人 (13.5人/日)	419人 (13.5人/日)
宿泊のべ人数/月 (平均)	116人 (3.8人/日)	139人 (4.4人/日)
訪問のべ回数/月 (平均)	468回 (15.6人/日)	426回 (13.7人/回)
のべサービス 提供回数/月	989回	984回
のべ利用日数/月	780日	770日
登録者一人当たり の平均利用回数	一人当たり 8.88回/週	一人当たり 8.95回/週

b) 長期宿泊および過少サービスの状況

長期宿泊の方3名。週平均4回以下の過少サービス状態の方が6名おられました。長期宿泊、過少サービス状態の方については各利用者の心身状況・生活状況、本人・家族の希望を報告し、委員より不適切指摘はありませんでした。

c) 新型コロナウイルス感染症対策

項 目	内 容
通い	<p>○ 通常対応中 今まで県外との往来があった家族様に利用相談を行っていたが、5月より通常利用としている。ただ、変わらず検温、風邪症状の有無などの健康チェックは引き続き行っている。 ホールにはアクリルパネルを設置し、黙食やマスク着用を促す貼り紙をすることで、利用者の食事の様子も変わってきた。</p>
泊り	○ 通常対応中
訪問	○ 通常対応中
面会制限	○ 体調確認して頂き、市内の感染状況を見ながら面会の可否を決めている。
人員体制	<p>○ 現在職員18名。欠員なし ○ コロナ関係で濃厚接触者に該当したり、子供さんの学校関係で休みとなることが相次いだが、その都度職員の勤務調整を行い、対応している。</p>
職員の対応	<p>○ 期間内で体調不良者無し ○ 自宅での検温・マスク着用・行動記録表作成 ○ 職員の家族や家族の職場、子供の学校に陽性者が出て、職員が濃厚接触者に該当した場合は、職員は保健所の指示に従い、数日間の自宅待機の後、出勤とした。そのような場合はほほえみ館内、送迎車等の消毒を行った。そして、職員のマスクはN95を使用し、感染予防に努めた。</p>
業者の入館	<p>○ 玄関対応可能な業者は玄関対応へ変更 その他業者は玄関で体温測定後に消毒、マスク着用してもらい入館</p>
備品の状況	<p>○ マスク・消毒液・プラスチック手袋 → 備蓄あり ○ 予防衣・フェイスシールド → 備蓄あり ○ 法人で抗原検査キットを購入。必要時に使用予定。</p>

(3) しつらえ・環境作り

①室温・換気・湿度

換気以外の寒さの訴えなし。常時窓を開放し、外気温に合わせて
開放量調整

②感染症予防のための取組み（新型コロナウイルス感染症対策を含む）

感染症の発生はありませんでした。

毎日の管理 : 換気・手すり等消毒（2回）

空間洗浄機（次亜塩素酸水）の終日稼働

週2回の管理 : 次亜塩素酸ナトリウムを使用した床拭き

③設備・機器の整備

公用車納車 車いす対応タイプ4WD

④過ごしやすい空間作りの取組

4月30日	鯉のぼりつるし飾り
5月9日	塗り絵展示
5月20日	苺つるし飾り

(4) 地域と職員のかかわり

①参加行事

コロナウイルス感染予防対策のためすべて休止

②実習受入れ

なし

③民生委員・関係機関等との連携

独居生活の方の生活の心配事にたずねあひ話し合い

(5) 利用者の生活に地域とのつながりをもつ取組

①利用者個別の地域行事参加支援

なし

②利用者全体の外出支援・地域行事参加支援

ガス代支払い支援	1名
銀行引き出し支援	2名

3

③通院支援

定期受診日の予約票保管、受診促し	15回
処方薬の受領、支払い代行	13回
体調不良時の主治医への状態報告、受診手配	3回

④町内買い物代行

10名を継続支援中です。

⑤町内支払い代行

法人預り金管理規程に準じて9名からお預りし、支払いを代行しました。
購入支援の主な内容は、受診代、薬代、紙おむつ代、食材購入代でした。

(6) 防災・災害対策

4, 5月に訓練等の実施なし。年度内に2度の消防訓練と防災訓練実施予定。

(7) 質を向上するための取組

①研修（職場内外）の実施・参加

4月8日	事業所ミーティング	利用者に関する情報伝達・小規模計画評価
5月13日	事業所ミーティング (書面開催)	利用者に関する情報伝達・小規模計画評価

会議にて各利用者の支援見直しを行っていました。

介護事故の発生状況

5月25日昼食後、利用者様が持ってきているティッシュを丸め、口にふくまれる。

対策 病気の為、口からよだれがこぼれやすく、本人が気にするためにテ

ィッシュを持ってきてもらい、使用してもらっていた。家族様にティッシュの代わりにハンドタオルを持ってきてもらうようお願いした。

(8) 人権・プライバシーの保護

①身体拘束の有無

実施の必要性はありませんでした。

②虐待防止活動（大田市介護相談員）

現在は電話での聞き取りをされています。

③苦情相談

苦情相談はありませんでした。

2. 意見・アドバイス

(2) 現金の預かりについて

地域の方より

・預り金の上限はありますか

⇒なるべく預り金はしないようにしているが、上限はあります。

家族代表の方より

・地域サポートとの連携で、ご近所さんの日常的見守りとありますが、どんなことをされていますか

⇒・近所の商店の方に、認知症で独居の利用者様が買い物にいかれますが、買い物の内容で、のどに詰まりやすい物や他にもその方にとってひと手間入れないと食べれないものに関して、違う食べやすいものを提案して頂いています。家の中の事で心配事があった時には相談に行かれるので、対応して頂いています。

・泊りが長く続いた後に自宅にて過ごされる時には顔を見に行ってください。

地域の方より

・生活リハビリとあるが、生活の中でやることですか

⇒ほほえみの中で日常生活で行うことを中心に行っていますが、サービスの見直しにも繋がっています。

4. 次回開催

令和4年度 第3回 令和4年8月18日（木）10時から開催します。

新型コロナウイルス感染対策の状況によって変更の可能性があります。